

# 平成 29 年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 29 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 30 年 6 月 5 日(火)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 22 名、委託関係者 22 名ほか、計 52 名の参集を得て、除草剤 5 薬剤 (28 点)、生育

調節剤 4 薬剤 (13 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成 29 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験 判定

### A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピル アミン塩:41%  [TAC普及会]	カンキツ	マルバツユクサ	実・継 (従来ど おり)	実)[カンキツ:雑草全般] ・春~夏期 ・雑草生育期(草丈30cm以下) ・一年生雑草対象;250~500mL/10a ・多年生雑草対象;500~1000mL/10a 散布液量<25~50L/10a(専用ノズル使用), 50~100L/10a> ・茎葉処理(樹間・樹冠下) 継) ・多年生雑草に対する草種と効果の確認 ・マルバツユクサに対する効果・薬害の確認
	カンキツ	薬害試験		
2. MAH-1201顆粒水和 DCMU:80%  [アダマ・ジャパン]	温州ミカン	一年生雑草	継	継) ・効果、薬害の確認
	不知火	一年生雑草		
3. NC-622 液 グリホサートカリウム塩:48%  [日産化学工業]	カンキツ	一年生雑草	実・継 (従来ど おり)	実)[カンキツ:雑草全般] ・春~夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下). 一年生雑草対象;200~500mL/10a, 多年生雑草対象;500~1000mL/10a, スギナ対象;1500~2000mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用), 50~100L/10a>. ・茎葉処理(樹間・樹冠下) [カンキツ:マルバツユクサ] ・春~秋期 雑草生育期(草丈30cm以下) 500~1000mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用), 50~100L/10a>, 雑草生育期(草丈60cm以下)1000~1500mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用), 50~100L/10a> ・茎葉処理(樹間・樹冠下) 継) ・スギナに対する翌年の発生防止効果の年次変動確認 ・散布水量5~6L/10aでの効果、薬害の確認 (一年生と多年生)
	カンキツ	多年生雑草		
	カンキツ	薬害試験		
4. NH-009 液 グルホシネート:18.5%  [日本農薬]	カンキツ	一年生雑草	継	継) 効果、薬害の確認
	カンキツ	多年生雑草		
	カンキツ (温州ミカン)	倍量薬害		
	カンキツ (温州ミカン を除く)	倍量薬害		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
5. SCC-010 液 グルホシネート:18.5%  [日本アグロサービス]	カンキツ	一年生雑草	継	継) ・効果, 葉害の確認
	カンキツ	多年生雑草, スギナ		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. CS-22H 水和 炭酸カルシウム:91.0%  [白石カルシウム]	温州ミカン	低濃度拡大(浮皮軽減)	実・継 (従来 どおり)	実) [温州ミカン;浮皮軽減] ・着色初期 ・100倍 1~2回 十分量 ・散布(果実表面に十分付着するよう) 注) ・果実の表面に白色の汚れが残る場合がある  継) ・浮皮軽減を目的とした200倍での効果・葉害の確認 ・果皮水分減少促進を目的とした100倍での効果・葉害の確認
	温州ミカン	果皮水分減少促進		
2. ジベレリン 水溶 ジベレリン:3.1%  [愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター]	カンキツ (愛媛果試 第28号)	水腐れ軽減	実・継 (従来 どおり)	・~H19 実) [不知火;水腐れ防止] ・着色終期 ・0.5~1ppm ・果実散布 [ボンカン;水腐れ防止] ・着色始期~3,4分着色期 ・0.5ppm ・立木全面散布 注)着色が遅れることがある  継) ・温州ミカン, はれひめ, 愛媛果試第28号に対する 効果, 葉害の確認 ・ボンカン着色終期処理での効果, 葉害の確認
		新梢伸長促進		
3. ジベレリン 塗布 ジベレリン:2.7%  [広島県立総合技術研究所]	レモン	新梢伸長促進	実・継	実) [温州ミカン(石地), レモン;新梢伸長促進] ・新梢萌芽期 ・100mg:1回/枝 ・新梢基部塗布  継) ・べにばえ, みはやにおける効果, 葉害の確認
4. ジベレリン水溶, PDJ液 ジベレリン:3.1% プロヒドロジャスモン:5%  [愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター]	伊予柑	水腐れ軽減	実・継 (従来 どおり)	実) [ボンカン, 不知火;水腐れ軽減] ・着色始期 ・ジベレリン3.3~5ppm+PDJ25~50ppm 十分量 ・散布(果実を中心に全面散布) 注) ・使用時に混用する ・着色が遅延する事があるため貯蔵用の果実で使用す る ・処理により緑斑を生じることがある  継) ・伊予柑, はるみにおける効果, 葉害の確認